

平成27年度 秋季特別展

盆栽につもる雪

はちのき
「鉢木」物語の世界

10月10日(土)～12月2日(水)

前期 10月10日(土)～11月4日(水)

後期 11月6日(金)～12月2日(水)

【会場】さいたま市大宮盆栽美術館 企画展示室

【休館日】毎週木曜日

【主催】さいたま市大宮盆栽美術館

【後援】一般社団法人日本盆栽協会、埼玉新聞社、NHKさいたま放送局



能楽から絵本まで、

語り継がれた「決定的瞬間」

展示構成

- 1 「鉢木」の物語
- 2 能楽『鉢木』—— 伝承された物語
- 3 歌舞伎の世界—— 女鉢木へ
- 4 物語世界の展開—— やつし鉢木
- 5 いまに伝わる「鉢木」

中世に端を発する謡曲「鉢木」。上野国（現・群馬県）佐野を舞台とするこの物語は、ある雪の夜、旅の僧侶を装った鎌倉幕府五代執権・北条時頼のため、清貧の老武士・佐野源左衛門常世が、焚き木の代わりしようと、秘蔵する鉢の木を枝を切り落とす名シーンで知られています。また、常世が見せた幕府への忠義心は、「いざ鎌倉」の語源ともなりました。

「鉢木」は、江戸時代から現代に至るまで、多くの絵や物語にされて受け継がれてきました。零落した生活にわずかに残された鉢の木を前に、なたを振るい、枝を落とそうとする、決定的瞬間を中心に、鉢木物語の名シーンは人の心に刻みつけられ、やがては本来の物語を離れた新たなイメージも作り上げていきます。

本展は、盆栽（鉢の木）をめぐって繰り広げられたこの物語の多彩なイメージを、能絵や歌舞伎を描いた浮世絵版画をはじめ、版本挿絵や衣装紋様、近現代の絵本まで、さまざまな時代とメディアを通してご紹介するものです。

一つの物語世界が共有され、新たなイメージが生み出されていく、日本の物語文化のダイナミックな展開を、盆栽が主要な役回りを受け持つ「鉢木」物語をめぐって見ていきます。



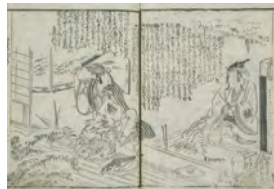
月岡芳年《芳年武者先類》
明治16年(1883) 個人蔵
(前期展示)



月岡耕漁《能楽百番 鉢木》
大正13年~15年(1924-26) 国立能楽堂蔵
(後期展示)



作者不詳《佐野源左衛門鉢の木三枚続組上》(部分)
明治25年(1892) 個人蔵
(前期展示)*複製組み立て模型を全期間展示



山東京伝(作) 北尾重政(画)『龍宮権鉢木』
寛政5年(1793) 早稲田大学図書館蔵
(後期展示)



大木雄二(文) 鴨下晃湖(画)
『ムカシバナシハチノキ』(『コドモエバナシ』第5巻16号)
昭和17年(1942) 大宮盆栽美術館蔵
(全期間展示)



鈴木春信《やつし鉢木》
明和期(1764-72) 個人蔵
(10月10日(土)~10月21日(水)、
11月6日(金)~11月18日(水)展示)



《縹縮緬地鉢木模様染縫振袖》
江戸時代中期
国立歴史民俗博物館蔵
(前期展示)

特別展公演「講談で味わう鉢木物語」 聴講無料

- 日時 11月3日(火祝)
①10時~11時 ②14時~15時
- 出演 ①神田 山吹(講談師)
②神田 紅葉(講談師)
- 会場 さいたま市大宮盆栽美術館
ロビー特設会場
- 定員 各回60席程度

特別展講座「鉢木物語の世界」 聴講無料

- 日時 ①10月25日(日) ②11月23日(月祝)
両日とも13時30分~15時
- 演題 ①「浮世絵にみる歌舞伎の鉢木物について」
渡邊 晃(太田記念美術館主幹学芸員)
②「能楽『鉢木』の世界」
田口 和夫(文教大学名誉教授)
- 会場 さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
- 定員 各回40人

申込み(共通) ハガキにて、氏名、住所、電話番号、「特別展公演(①、②のどちらか)」、あるいは「特別展講座(①、②のどちらか)」を明記の上、10月13日(火)必着で当館まで。結果は全員にハガキでご連絡します。

特別展ギャラリートーク

- 日時 10月12日(月祝)、10月17日(土)、11月1日(日)、11月21日(土) 全日程とも13時30分~
 - 会場 さいたま市大宮盆栽美術館
 - 担当 当館学芸員
- ※当日の観覧券をお持ちの上、当館ロビーにお集まりください。

開館時間 3月~10月: 午前9時~午後4時30分
11月~2月: 午前9時~午後4時

*入館は30分前まで

休館日 木曜日(祝日の場合は開館)、
年末年始、臨時休館日あり

観覧料 一般.....300円(200円)
高大生・65歳以上の方.....150円(100円)
小中学生.....100円(50円)

*障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方一名は半額
*()内は、20名以上の団体料金



電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
東武アーバンパークライン「大宮公園駅」下車 徒歩10分
車利用 首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
東北自動車道「岩槻」出口より約9km
駐車場: 一般車両39台(2時間まで無料)
大型車3台(860円)、障害者用2台(無料)

このチラシは30,000部作成し、1部当たりの印刷経費は6円です。



さいたま市

大宮盆栽美術館

〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3

TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323

http://www.bonsai-art-museum.jp

https://facebook.com/OmiyaBonsaiArtMuseum

第8回世界盆栽大会(平成29年[2017]4月27日~30日)がさいたま市で開催されます。